

会 議 記 録

政策企画局 市民参加・協働推進課

開催日	平成 25 年 3 月 28 日(木)	開催時刻	19 時 00 分から 21 時 00 分
会議名	上田西部地域協議会(平成 24 年度第 12 回)		
出席者	小林委員、小宮山アサジ委員、小宮山涼子委員、斉藤委員、佐藤修一委員、佐藤裕委員、関委員、成田委員、長谷山委員、原委員、廣田委員、藤作委員、布施委員、増田委員、松本委員、山崎委員、湯田委員 (欠席委員) 竹内委員、藤原委員 (事務局) 山崎市民参加・協働推進課地域振興政策幹、北沢市民参加・協働推進課課長補佐、堀内市民参加・協働推進課主査 (説明者) 藤沢地域交通政策課長、柳沢地域交通係長		
会議次第	<p>1 開会(副会長)</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>皆さんこんばんは。先日新聞に、前回意見を聞かれました太郎山山頂のモニュメント設置についての記事が掲載されていました。その後どうなったかと思っていましたので、引き続き今後の動向を見守っていきたいと思っています。本日は審査もありますので進めてまいりたいと思います。よろしくをお願いします。</p> <p>3 協議事項</p> <p>(1)わがまち魅力アップ応援事業の審査(プレゼンテーション)</p> <p>事務局： 本日の審査について説明させていただきます。(資料を基に説明)</p> <p>会長： この件について質問ある方いますか。今日午前中、全市対象事業の審査をしてきました。5段階評価での審査でしたが、もし不採択の場合でも、今年から年3回申請の場がありますのでその点も頭に入れていただければと思います。</p> <p>事務局： それでは、資料に沿って団体より説明をしていただきます。全部で5団体、新規事業1団体、継続事業4団体になります。</p> <p>【申請者A】</p> <p>申請者： 歌って踊ろう健康広場です。よろしくをお願いします。(説明)</p>		

委員： 講師謝礼の費用が大きいように思いますが、講師はどのような方ですか。

申請者： 三橋美智也さんの愛弟子の方で、プロ歌手としての活動以外にも福祉関係の資格もお持ちで、音楽は基より体操や色々なことを教えてくださる全国レベルで活躍されている先生です。

委員： 使用料に生活総合機能改善機器とありますが、内容を教えてください。

申請者： 身体機能改善のための曲目や踊りが入った特別のカラオケ機器の使用料と電気代です。

委員： 昨年度も活動されていますが、どのように運営をされていたのですか。

申請者： 県の補助金（元気づくり支援金）を受けておりました。

委員： 他に同じようなことを行っている団体がありますが、アピールポイント、違いはありますか。

申請者： 幼少期に帰っていただく意味で懐かしい洋服を着たり、童謡を歌ったり、独自のプログラムで行っていますので他とは違うと思います。

委員： 利用者の方の反応はどうでしょうか。

申請者： デイサービスでは体操嫌いだと言ってやらない方も、私共の活動では率先して動いている姿にデイサービスの方も驚いています。次回の活動を楽しみにしてくれています。

委員： 実際に開催場所まで行かれない方への対応は何かありますか。

申請者： 自治会や老人会の方々に誘い合って乗り合わせて来てくれています。

事務局： ありがとうございました。時間になりましたので、以上で終了させていただきます。

【申請者B】

申請者： 下塩尻自治会です。よろしくお願いします。(説明)

委員： 今年で補助金が終了しますが、今後はどのように運営を考えていますか。

申請者： ホタルの名所の地という PR はできましたので、今後は環境整備に力を入れ、ホタルの舞う時期は地域をあげて盛り上げ継続していきたいと思います。

会長： 他に質問ありますか。なければ以上で終わります。

【申請者 C】

申請者： 生塚自治会です。よろしくお願いします。(説明)

委員： 伝統行事の中のわら細工やおんべ作りは我々では自治会の中で行っておりますが、何か違う物ですか。

申請者： 一般的な物ではなく地域固有の特殊な伝統的な活動です。

会長： 補助金がなくなった時の継続性はどうか。

申請者： 基本的には今までの取組を継続していきたいと考えています。

会長： 他に何かありますか。なければこれで終わりたいと思います。

【申請者 D】

申請者： 太郎山山系を楽しくつくる会です。よろしくお願いします。(説明)

委員： イベントの経費は計上されていませんが、よろしいのでしょうか。

申請者： なるべくお金をかけないで出来るイベントを考えております。

委員： 整備に関して、自治会と連携して一緒に行ったらどうでしょうか。

申請者： はい。私共としましても自治会の方へお願いしている段階です。

会長： ありがとうございます。時間になりましたのでこれで終了します。

【申請者 E】

申請者： 西部ペタンク同好会です。お願いします。(説明)

委員： 消耗品にペタンクセット 68 セットとありますが配布予定を教えてください。

申請者： 23 年度に 68 セット購入し、各自治会に配布しましたが、2 年経ち自治会より追加要望もありましたので、1 セット購入して各自治会の方に配布したいと思います。

委員： 先生を東京から呼ばなくても、地元の講師がいればよいと思いますが。

申請者： 私もふまえて地元の講師は資格を持っておらず、今、取得中です。国際大会まで通じるスポーツととらえていますので指導するには資格が必要になります。

委員： 10 月に全国大会がありますが、人数は何人位集まりますか。

申請者： 22 年度は約 15 組、35 人程でした。今年も同じ位と考えています。

委員： 長野県全体での組織はありますか。そちらから専任講師をお願いできれば、もっと身近に出来ると思いますが、その辺はどうでしょうか。

申請者： ひとつありますが、まだ大会ができるような組織ではありません。

会長： ありがとうございます。時間になりましたのでこの辺で閉じさせていただきます。

会長： 今年から年 3 回の申請の受付になりましたが、不採択の場合でも、理由の延べて改善をして次回へまた再申請をしてもらえるよう、私達も協力していきたいと思います。

事務局： 次回は 6 月に応募をかけます。7 月に審査を行う予定です。

(2)上田市運賃低減バス運行計画について

地域交通政策課：上田市路線バス元気再生計画(案)資料を基に説明

委員： 4点お聴きします。 別所線の電車と別所方面のバスに同じく上田市から補助が出るということについてどう考えているか。この地域だけ二重の補助ではないか。 豊殿地域の自主運行バスについて、自主的に始めた地域に対して今回の低減バス運行をすることで、かえって競合してしまうことにならないか。 通学定期の補助について、距離があるためにその地域限定で補助が出るということを出ていない地域との公平性は保てるのか。 民間の交通事業者について、タクシー業者等の業務を公的機関が妨害しているとも考えられるがその辺はどうか。答えられる範囲で構わないのでお答えいただきたい。

担当課： について、別所線についてはこれまでも継続して支援をしてきています。地域の皆さんの熱意で別所線は運行が続けられています。今回の低減（案）では、これまで乗っていなかったような皆さんを対象にした上田市全体の取組であり、多くの方に乗って地域の足として存続していくための改正でありますので、ぜひご理解をいただきバスに一人でも多く乗っていただきたいと思います。

について、豊殿地域約 1,400 世帯から 1,000 円を徴して運行し、不足分を補助金で賅っているという状況です。既存バス路線等とこの自主運行バスについては目的も運行場所も異なり競合しているという状況ではありません。

について、13km以上の遠距離通学に対して通学定期の補助が出るという制度になっています。これに対して、駅から近い中心市街地に住んでおられる方が遠くの高校に通うような場合も実際にはある中で、そういった方々に対して補助は出していない状況になっています。公平性という観点から、例えば回数券などの補助でできるだけ公平になるように検討をしていく必要があると考えております。

について、タクシー利用者をバスへ乗っていただくようにするための施策ではなく、タクシー業界の皆さんについても重要な公共交通を担うパートナーでありますので、バス利用者を増やしていくとともにタクシーを利用する方も増やしていこうというものであります。上田市を訪れる皆さんが増え、また中心市街地を訪れる皆さんを増やしていくような施策を展開する中で、タクシー利用者も増えていくよう様々な事業を引き続き検討してまいりたいと考えております。

委員： 西部地域のバスを考えた時、外の地域がどうかは分からないが、料金を下げたから乗るという状況ではない。路線やダイヤの見直しとか必要とする人がいなければ、乗る人は増えないと思うがその点はどう考えているか。

担当課： ご指摘のとおりでございます。状況調査、アンケート調査を毎年実施しながら利便性向上のために充実させていくことが必要であると考えています。

委員： 資料の 5 ページにある市からの補助金の推移について、今後この低減バスを運行させた場合、補助金は実際どうなっていくのか見通しは立ててあるか。

担当課： 資料の 20 ページにお示ししてありますとおり、これは想定ですが利用者が現在の 1.5 倍になれば補助金は今より下がると見込んでおります。20 ページのグラフは、対象となる廃止路線代替バスの状況を示した図です。

会長： この図のとおり利用が増えるよう協議会としても見守っていきたいと思います。

事務局： それでは、今日採点していただいた結果について報告させていただきます。

会長： 西部地域協議会として、60 点以下の事業については不採択とさせていただくことでよろしいか。(全員了解)

事務局： 次回審査は、6 月に募集を行う予定ですので 7 月の協議会で審査を行いたいと考えています。予定をお願いします。

(3) その他・・・特になし

(4) 次回会議の開催と日程について

第 1 回西部地域協議会 平成 25 年 4 月 22 日(月)

第 2 回西部地域協議会 平成 25 年 5 月 27 日(月)

4 報告事項

- ・ まちづくり講演会 平成 25 年 3 月 10 日開催
- ・ まち歩き「秋和編」平成 25 年 3 月 17 日開催

5 閉 会